

平成 29 年度
部局運営方針
(振り返り)

平成 30 年 5 月



The Ambitious City

■部局運営方針振り返りとは

当該年度の部局運営方針に対して、年度終了後に振り返りを実施します。
なお、振り返りにおける事業総括の選択肢は以下のとおりです。

事業総括選択肢

- a.事業はすべて予定どおりに進捗した、b.事業はおおむね予定どおりに進捗した
- c.事業はあまり予定どおりに進捗しなかった、d.事業はまったく進捗しなかった

■ヒアリング日程

平成30年5月8日（火）及び9日（水）

■目次

企画財政部	01
総務部	02
市民環境部	03
保健福祉部	05
子育て支援部	06
建設部	07
経済部	08
水道部	09
会計室	10
議会事務局	11
監査委員事務局	12
教育部	13
消防本部	14

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

- 【特記事項】
- ・第 5 次総合計画に掲げた都市像の実現に向け、各種計画の策定や財政運営指針の策定など、予定した業務は計画どおり実施できた。
 - ・定住人口の増加に向けた施策を掲げている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進には、他部局の業務進捗状況を踏まえながら、社会増の人口推移を維持するなど一定の成果が表れている。
 - ・まちづくりの様々な分野における首都圏との幅広い人脈とネットワークを形成するため、東京北広島会の設立も行い、人的交流が図られた。
 - ・行財政改革実行計画の基づき、中長期的な財政運営指針を初めて策定し、今後の財政運営に活用する。
 - ・北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク誘致については、関係機関との協議を積極的に進め、平成 30 年 3 月 26 日に候補地として内定となった。構想実現に向けた第一歩であり、交通アクセスの向上や財政運営への影響など詳細に協議を行い、2023 年の開業に向けて業務を進める。
 - ・おためし移住事業においては、まちの PR 効果という面では一定程度の成果は見られるが、移住実績に結びついていないことや、建物の老朽化の進行などから、平成 30 年度中に事業を廃止する。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおり進捗した

【特記事項】

- (1) 職員の育成については、職場で活躍する方法を学び、主体的に今後のキャリアを考える女性職員を養成することを目的として、女性キャリアデザイン研修を新たに実施した。
- (2) 時間外勤務の縮減については、縮減方針に基づき取り組んでおり、総時間数で前年比約 11% の減となった。
- (3) 平成 29 年度から、保育料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の滞納繰越分を各担当課から税務課に移管し、市税と併せて滞納整理を行う債権一元管理に取り組んだ。結果については下記のとおりで、3 料とも収納率が上がっている。

滞納繰越分収納率の推移

	H29	H28	H27
保育料	19.33%	11.13%	8.84%
介護保険料	33.27%	21.55%	19.09%
後期高齢者医療保険料	60.22%	43.98%	35.88%
合 計	25.87%	16.28%	13.44%

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】（市民参加・住宅政策室）

- ・ 市民参加推進事業については、推進会議を 5 回開催し、連携を図る中、市民参加の意識の高揚を目的に「市民参加フォーラム」を初めて開催し好評を得た。また、市民政策においても 1 件提出があり、一定の成果を得た。
- ・ 空き家対策事業については、空き家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、「北広島市空き家等対策計画」を策定するとともに、特定空き家の判定に際し、基準となる「特定空き家等の判定基準」を定めた。また、空き家等のデータを整備し、データベースも作成した。
- ・ ファーストマイホーム支援事業については、当初 70 件程度の申請を見込んでいたが、支援制度が子育て世代を中心に浸透したことと不動産業者等への PR 効果により、増加が見込まれたため、補正予算を組み最終的に 146 件の申請があった。

（市民課）

- ・ 町内会・自治会活動の支援ツールである「町内会・自治会活動支援ガイド」については、作成しつつも完成には至らなかったが、平成 30 年度には刊行する予定。
- ・ 夢プラザ等地区センターについては、指定管理者の募集・指定を滞りなく実施した。
- ・ 「平和都市宣言 30 周年」記念事業については、平成 29 年度において、事業内容を検討し、平成 30 年度において平和都市宣言プレートの作成や各種記念事業を実施することとした。
- ・ 北海道から人権活動地方委託事業の指定を受け、講演会の開催、人権の花運動の実施、懸垂幕の設置を行い、人権啓発の強化を図った。
- ・ 戸籍、住民記録、個人番号カードの適正な管理運用に努めるとともに、行政情報及び広告付番号案内システムの運用や個人番号カード申請補助事業、ゆるキャラ（まいピー）を登載した婚姻届や受理証明書の配布等により行政サービスの向上を図った。

（環境課）

- ・ 地球温暖化対策を推進するため、高効率給湯暖房機（26 件）、太陽光発電システム（15 件）の設置支援を実施した。
- ・ 霊園の指定管理制度導入については、平成 30 年度からの指定管理者募集を実施したが、応募がなかったことから、仕様等を再検討することとした。
- ・ 火葬場の在り方については、札幌市里塚斎場火葬場利用サービスを継続して実施し、利用者に「札幌市里塚斎場火葬場利用サービス事業に係るアンケート調査」（回収率：約 67%）を実施した。里塚斎場については概ね好評である一方、北広島市葬斎場については、必要（約 32%）、必要ない（31%）、わからない（37%）という結果であった。

- ごみ減量化・資源化については、これまで普通ごみとして処理していた雑紙類について、ミックスペーパーとして拠点回収による資源化を開始し、市民からの反響が大きく、11月からの5ヶ月間で約30トンを経源として回収することができた。
- ごみ処理に関する意識調査の実施については、12月にごみ処理に関する市民意識を把握するため「ごみに関する市民アンケート調査」を行い、現在集計中。(回収率：約50%)
- ごみ処理広域化事業は、道央廃棄物処理組合において焼却施設建設に係る基本設計を終え、当初のスケジュールどおり進捗した。

1 振り返り

【事業総括】 (a) 事業はすべて予定どおりに進捗した

【特記事項】

- 保健福祉諸計画の策定
 - ・「障がい支援計画」「高齢者保健福祉・介護保険事業計画」（H30～H32）
- 福祉センター等の移転整備
 - ・H29. 12月 債務負担行為の議決 基本協定締結 事業着手
 - ・H30. 5月～H31. 5月 建築工事
 - ・H31. 6月 移転オープン予定
- 高齢者・障がい者の相談支援体制の充実
- 国民健康保険の都道府県単位化と保険税改正

◇生活困窮者自立支援事業

学習支援事業	対象	当初	最終	
	中学1年生	5名	18名	
	2年生	5名	18名	
	3年生	5名	7名	（5名：第1志望校合格）
	計	15名	43名	（H30当初：39名）

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 ◇予定どおり実施できたもの

(1) 子どもの権利擁護事業

平成 30 年 3 月に第 2 次子どもの権利推進計画を策定し、子どもの貧困対策、子ども会議の開催等について新規に計画に盛り込んだ。

(2) 多子世帯の子育て支援

保育施設利用の 3 歳未満で、年収 640 万円未満相当の世帯について、第 2 子の保育料の無償化を実施した。(北海道事業を活用。第 3 子以降はすでに無料)

【H29 実績】 対象児童数 151 人、1 人当たり平均月額 12,700 円の減

(3) 東部学童クラブ整備事業

3 月末までに実施設計を終了した。平成 30 年度は、本体工事及び外構工事を実施する。

計画面積 345 m²、定員 110 人

(4) 児童館整備事業

児童館機能を含む西の里地区公共施設の今後のあり方について、基本方針が決定した。

(5) 病児・緊急預かり事業

共働き世帯やひとり親世帯の子育て・就労支援策として、平成 30 年度から病児・病後児預かりの 1 日あたり利用料に上限額（3 千円）を設定した。

児童 1 人あたり最大約 6 千円/1 日の負担軽減（H30 は延べ 25 件分を計上）

◇一部、予定どおり進捗しなかったもの

(6) 児童センター運営事業

・平成 30 年度から輪厚児童センターの業務委託を開始した。地域への説明の中で、一部住民から、説明が十分でない等の指摘があり、今後委託による運営を進める中で、地域懇談会を実施することとした。

・ランチタイムは、夏・冬休み中の 19 日間で試行し、小学生を中心に延べ 44 人が利用した。本件はイベントとしての実施ではなく、昼間保護者がいないために孤食の不安を抱える小学生等にとって有効な取り組みであり、今後の手法について検討していく。

・蔵書については、寄付による充実が図られた。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 平成 29 年度建設部運営方針の重点事項の各項目について振り返りを行う。

(1) 道路の整備補修について

・道路の整備補修事業の内、市道整備事業（補助）については、国の予算措置の減額により共栄南 1 号線の工事着手には至らなかったが、他の路線については概ね計画に沿って実施することが出来た。

(2) 都市公園の整備について

・設置から相当の期間が経過し老朽化した公園の遊具やバリアフリー化されていないトイレの改築更新については、北広公園外 8 公園の公園施設の改築更新を計画に基づいて実施した。

(3) 市営住宅建替えならびに公営住宅長寿命化事業について

・老朽化が著しい共栄第 2 団地と北の台団地の建替えについては平成 23 年度より事業に着手し、平成 29 年度は 3 号棟の建設を実施した。また、公営住宅長寿命化事業については広島団地 4 号棟の改修工事を計画に基づいて実施した。

(4) 除雪車両等の更新について

・冬期間の除雪体制維持のため、平成 29 年度は除雪グレーダーと道路維持作業車を各 1 台建設機械購入計画に基づき更新した。

(5) 橋梁の補修について

・橋梁長寿命化修繕計画に基づき大曲橋補修設計（札幌市への負担金）、中央陸橋（北側）と広葉陸橋の補修工事を実施した。

(6) 東の里遊水地の利活用計画の策定について

・平成 31 年度完成を目指して、現在国により整備が進められている東の里遊水地の利活用の基本的な考えを示した計画を平成 29 年度に策定した。

1 振り返り

<農政課> グリーンツーリズム推進事業

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

- 【特記事項】
- ・グリーンツーリズム推進事業については、市の農業PRのため、交流農園マップや寒地稲作発祥をPRするしおりの作成・配布を実施するとともに、広島県において北広島市産ななつぼしのPR販売を行うなど、本市の魅力を積極的に発信した。
さらに、北広島市グリーンツーリズム協議会と連携し、農村地域の活性化につながる「農泊」の取組に関する講演会を行った。
 - ・六次産業化等支援事業については、北広島市6次産業化等推進協議会を設置し、北広島市6次産業化等推進戦略を策定した。
さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的な施策である農業を核とした新たな産業の創出（六次産業化等）の取組促進を図るため、北広島市六次産業化等支援事業補助金の制度を創設し、平成30年度から運用を開始する。

<観光振興課> サイクルツーリズム等観光拠点整備事業

【事業総括】 (c) 事業はあまり予定どおりに進捗しなかった

- 【特記事項】
- ・サイクルツーリズム等観光拠点整備事業において、旅行商品の企画を目的としたインバウンド招へいツアーの開催や海外プロモーションを実施してきた。成果としては、具体となる商品の企画には至っていない。

<商工業振興課> 空き店舗利用促進事業 働きたい女性のための再就職支援事業

【事業総括】 (a) 事業はすべて予定どおりに進捗した

- 【特記事項】
- ・空き店舗利用促進事業については、当初5件（うち新規2件）1,425千円の申請を見込んでいたが、空き店舗を利用して開業しようとする事業者が見込みを上回り、補正予算により7件（うち新規4件）の申請に対応した。（1,814千円）
 - ・働きたい女性のための再就職支援事業については、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけ、子育て等でブランクのある女性15名に対し座学や職場体験等研修を実施し、KPIの就職率100%を達成した。

企業誘致推進事業

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

- 【特記事項】
- ・企業誘致推進事業について、輪厚工業団地については、成果として完売は達成出来なかったが、完売に向けての目途は立てられた。

1 振り返り

【事業総括】 (a) 事業はすべて予定どおりに進捗した

【特記事項】【水道事業】

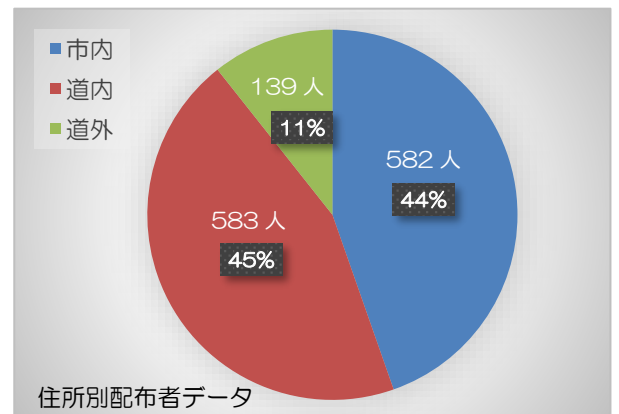
- (1) 「水道事業経営戦略の策定」については、これまでの 3 ヶ年の財政計画から、投資と経営のバランスをとった 10 ヶ年計画としたことで中長期的な視点で経営の見通しを立てることが可能となり、本市水道事業経営における羅針盤の役割を果たすものと考えている。
- (2) 「検針・収納業務委託」については、懸案であった水道料金に関する一連の業務をプロポーザル方式により(株)第一環境へ委託した。
- (3) 「給水タンク車の購入」については、予定どおり購入し、3 月 7 日に発生した札幌市清田区の漏水事故で応援派遣をおこない、今後へ向けた知見を得ることができた。



- (4) 「緊急時連絡管整備」については、札幌市との協定に基づき虹ヶ丘公園において緊急時連絡管の整備を完了し、今後は共同で運用訓練の実施を予定している。

【下水道事業】

- (5) 「維持管理包括委託」については、性能発注により平成 33 年 5 月 31 日までの 3 年契約を行い、今後は民間による創意工夫が期待できるものと考えている。
- (6) マンホールカードを製作し、12/9 から H29 末までの 113 日間で延べ述べ 1,304 人へ配布をおこなった。市外の方が半数以上であり、北広島市のシティセールスに若干の貢献ができたと思われる。



1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 ◇当初予定以上の取組みについて
《括弧数字は平成 29 年度重点目標番号》

(1) 入札・契約事務等の適正な執行について

- ・当初執行計画 92 件の建設工事等に対して、最終実績として 104 件（12 件増）について、公平性・透明性を確保しつつ、担当課と調整を図りながら発注時期に影響を及ぼすことなく、適正な契約事務を執行した。

(2) 適切な工事審査・検査について

- ・最終実績として、工事等の設計・施工に関する審査が当初予定 82 件に対し 104 件、検査が 91 件に対し 105 件と約 2 割増となったが、正確かつ迅速な審査に努め、各工事等の発注時期に影響を及ぼすことはなかった。また、検査についても担当課の要望に応じた適切な時期に実施することができた。

(5) 会計・契約実務研修会の開催について

- ・当初予定の新人職員、実務担当者を対象とした職員研修を実施すると共に、新たに管理職に特化した部署単位の研修を全庁的に実施し、職員の資質向上に努めた。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 ・「行政視察」については、総務常任委員会、民生常任委員会が行政視察を行い、視察を行った事務事業に関連して一般質問に取り上げるなど、先進的な取組への調査・研究に活かされました。

また、議会広報編集委員会では行政視察により、議会広報が P C やスマートフォン等で快適に閲覧できるよう新たな取組として、平成 30 年 2 月 1 日号から「QRコード」を活用して電子書籍への掲載を開始しました。

- ・「議会改革」では、新議場でのコンサートを開催して多くの市民に楽しんでいただいたほか、議会活動や議会情報等の I C T（情報通信技術）を活用した取組を進めるため、議員（6 名）で構成する「I C T 作業部会」を設置し、タブレット導入の道内先進地である芽室町議会を視察して、次年度から具体的な取組に向けての検討を進めます。
- ・「広報機能の強化」では、市民に開かれた議会を目指し、議会からの情報発信としての新たな議会中継システムを導入しました。新システムでは、スマートフォンやタブレットでも視聴できるようになりました。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 (1) 「平成 29 年度監査計画」に基づく監査

地方自治法等に定められた定例監査、財政援助団体等監査、決算審査、健全化判断比率等審査、例月出納検査などを、適法性、経済性、効率性、有効性の観点から実施することができた。

(2) 実効性ある監査

定例監査及び財政援助団体等監査等の監査の結果で指摘した事項が、指摘の趣旨に沿って是正、改善されたかを確認するなどした。

(3) 監査の実効性・透明性

監査結果の実効性を高め、透明性を確保するため、市のホームページによる情報提供のほか、職員向けに庁内ポータルサイトを活用するなど、監査結果等の情報提供をした。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】

(教育総務課)

- ・小学校 4 校（東部、大曲、北の台、大曲東）の校務用 PC（タブレット）120 台及び中学校 6 校の普通教室用プロジェクタ 86 台の更新を行い、学校 ICT 環境の整備・充実を図った。
- ・良好な教育環境を維持するため大規模改造工事（大曲東小学校屋体、東部中学校屋体及び校舎）及び防音機能復旧工事（大曲東小学校講堂）を実施した。

(学校教育課)

- ・西の里小中学校陽香分校を除く全ての小中学校へ特別支援教育支援員を配置したことにより、特別な支援を必要とする児童生徒に対する校内の支援体制の充実を図った。
- ・新入学児童生徒に係る就学援助新入学準備金の入学前支給（新小学生は平成 29 年 12 月、新中学生は平成 30 年 1 月）を実施した。

(小中一貫教育課)

- ・小中一貫教育の導入にあたり、推進会議において進捗状況を共有し、確認を行ったとともに、学校と連携し、市教委 HP や学校だより等で情報発信を行った。また、導入前 2 年間、同項目でアンケート調査を実施し、導入後の成果と課題の検証につなげていく。各小中学校の HP にも小中一貫教育のカテゴリを作成したことから、引き続き周知広報の一層の拡充を図っていく。

(社会教育課)

- ・公民館のあり方について、社会教育委員の会議に諮問を行い、1 年間かけて議論された答申を参考にあり方を見直した。また、大曲ファミリー体育館改修工事については地域の各種団体で構成されたリニューアル検討委員会からの報告書を基本に改修工事を実施した。

(文化課)

- ・市民との協働で進める図書館フィールドネット連携事業では、17 事業に約 8,600 人の参加があり、子どもからお年寄りまで幅広い読書活動を展開した。
- ・「青少年芸術文化大会出場支援事業」（H29 年度新規）として、11 件に助成した（執行率 96%）。

(エコミュージアムセンター)

- ・知新の駅の 1 階に、平成 28 年度に多くの市民が関わり製作した親子マンモスのほか、北広島の自然や歴史に関する常設展示を拡充するとともに 3 企画展を実施した。
- ・サテライトに関しては、平成 28 年 11 月に指定した旧島松駅通所周辺及び「レクリエーションの森」周辺において、「発見の小径を歩く」事業を実施した。

(学校給食センター)

- ・平成 29 年度は、今後の学校給食のあり方や食育の推進、施設の複合化・多機能化等について検討を進めることとした「学校給食のあり方に関する基本方針」を策定した。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 救急体制強化事業は、当初 3 名での派遣予定であった処置拡大 2 行為講習が受入側都合で 2 名となった以外は概ね予定どおりに進捗した。

応急手当普及啓発事業は、開催予定回数を約 130 回、受講者数を約 3,000 人と見込んでいたが、各種団体からの申し込みや児童数の減少などが要因となり、実施回数は 109 回で 84%、受講者数は 2,662 人で 89% の進捗であった。